

はなざの

みなみはなえん
南花園だより
第105号・2017年1月


社会福祉法人 貴陽福祉会 特別養護老人ホーム南花園 松戸市河原塚102-8 TEL 047-392-0881 FAX 047-392-0882
特別養護老人ホーム第二南花園 松戸市紙敷 1186-8 TEL 047-392-3336 FAX 047-392-3366

年頭のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

今年も、昨年同様暖かな元旦を迎えることができました。皆様方とりましても輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、今年も一月一日に入所者の皆様とともに、地元松戸市河原塚の鎮守の社であります、「熊野神社」へ初詣に行つてきました。

今年は酉年であります。一年が明るく元気に羽ばたける年に、そして併に感謝の気持ちを忘ることなく楽しく生活ができますようにと祈願して参りました。

南花園のある松戸市河原塚では、十二月に「わが街河原塚・いまと昔の物語」という素晴らしい本ができました。これは、新旧住民がひとつになつて歴史を掘り起こし、心のふるさとづくりに繋がった冊子です。

このような地域にある南花園は歴史に感謝し、ご利用者とともに地域に根ざして参りたいと思います。

さて、社会福祉法が昭和二十六年三月に制定されて以来、この度社会福祉法人制度の大幅な改正が行われ

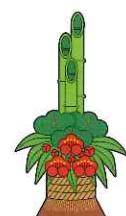
社会福祉法人 貴陽福祉会
理事長 矢野 久芳

ました。それは、評議員会が諮問機関から議決機関となり、理事会は議決機関から執行機関に変わること等で、社会福祉法人の透明性と社会への地域貢献等が問われています。

当法人も四月一日からの施行に向け現在、定款変更、評議員選任・解任委員会の設置や選任方法を行つており、施設福祉とともに独居老人の見守り等、より地域福祉に取り組んで参ります。

南花園も間もなく三十年目を迎えますが、五年目を迎える第二南花園とともに、ご利用されている皆様方に心安らぐ施設として職員のチームワークが最も重要なと考え、今年も「思いやりの心を胸にチームの和」を合言葉に役職員一丸となつて無事故で一年間を乗り切りたいと願っています。

酉年の酉とは「果実が極限まで熟した状態」との意味があり、実りある一年になることを願いつつ安心で安全な施設づくりに努力して参ります。そのためにも、多くのボランティアの皆様方や地域の皆様方のご指導・ご協力を願い申しあげまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



「おせち料理」

「正月の生け花」

「熊野神社にて」

南花園便り

こんな行事もありました

11/9 焼き芋大会

11/23 お楽しみメニュー(3階)

華道/毎月第4水曜日

12/3 紅葉狩り

12/6 そば打ち

12/17 寿司の日

12/24 クリスマス会

喫茶コーナー/年4回

12/28 もちつき大会

1/1 正月祝

誕生会/偶数月

出前の日/冬場・各フロア

1/2 初詣

11/26 防災訓練

南花園便り



十一月五日（土）三階食堂にて、文化交流会を開催しました。今年も、かぼちゃ劇団の皆様をお招きし、歌や演劇を披露してくださいました。お芝居の時には、入所者の皆様は、真剣な眼差しで見入っていました。歌の時には、かぼちゃ劇団の方々と一緒に歌って、皆様大変盛り上がっていました。

毎年入所者の皆様に楽しいお芝居や歌を披露してくださり、大変感謝しております。

来年も、来園して下さることを楽しみにお待ちしております。誠にありがとうございました。



十二月十日（土）秀美松会の皆様による三味線、花寿市松会の皆様による日本舞踊の慰問が行われました。三味線と日本舞踊の方が一緒に来て下さったり、三味線に合わせ手拍子をされていた方もいました。皆様大変喜ばれておりました。

お忙しい中、慰問に来園頂き誠にありがとうございました。また、来て頂けるのを楽しみにお待ちしております。



十一月二十九・三十日の二日間は、松戸市立和名ヶ谷中学校から七名来園されました。



職場体験

施設内研修

「歌やお芝居に大盛り上がり」

秀美松会・花寿市松会

近隣中学校の生徒さんが職場体験に来園されました。いい体験になつたでしょうか？

十一月十・十一日の二日間は、松戸市立第五中学校から二名来園されました。

施設内で行つた研修を紹介します。

- ①八月三一日「脱水と補水療法」を大塚製薬工場の青木氏に講師として来園頂きました。脱水は水だけではなく塩分も失われること、食事や水分についてのこと、脱水を起こす前にOS-1等経口補水液の補給が必要であるということを学びました。

②十一月二日「口腔ケアって何?どうやるの?」をやばしら歯科医院に講師として来園頂きました。口腔ケアについて、ブランシングの基本、義歯の清掃について学ばせて頂きました。口腔ケアについて、ブランシングの基本、義歯の清掃について学びました。
③十一月三十日「腸を健康にして免疫力をたかめよう」を千葉県ヤクルト販売鈴木氏に講師として来園頂きました。ヤクルトに含まれる乳酸菌や腸について、免疫力には腸内を健康にして、菌に負けない体を作ることについて学びました。



第二南花園 二階 従来型多床室



文化交流会

日本の伝統文化と異文化の融合

こんな行事もありました



第二南花園 三階 個室ユニット型

今年もユニットのクリスマス会を盛り上げるために、東ユニット入居者様のご家族様が所属するフラダンスのグループが、慰問に来てくださいました。東ユニットに披露する予定でしたが、「とても素敵だから」と、東のスタッフが西ユニットも誘って下さり、私達も急遽、東のクリスマス会に参加させていただきました。

クリスマスらしい、真つ赤なドレスに身を包んだフラダンサーの皆様の姿はまぶしく、美しい踊りにすっかり魅了され、異国情緒あふれる、おだやかな時間が流れます。なんだか旅行にでも来たような良い気分で、つい踊りたくなってしまいました。

フラダンスチームの皆様、東ユニットの皆様、素敵なお会いをありがとうございました。

今年もやっぱり 柴又の饅頭

11/29

柴又へお出かけ

待ちに待ったこの日、毎年恒例となつていて、柴又の「川千家」さんへ、饅頭を食べに行きました。川千家さんは、柴又で創業二五〇年を誇る老舗で、美味しい有名なお店です。予定より少し早く到着したので、まずは皆様の健康と更なる長寿を願つて、柴又帝釽天へお参り。参道を歩き、お買い物も楽しみました。その後、いよいよ待ちに待った川千家さんへ。運ばれてくる御膳を前に、「いろいろあつて、どれから食べて良いのか、迷っちゃうね」と、目を輝かせている皆様の姿に、「どんなに忙しても大変でも、また来年もくるぞ」と心に誓う、職員達なのでした。

もちろん、今年も期待を裏切らない、美味しい饅頭でしたよ。お腹いっぱい堪能し、幸せいっぱい、大満足で、帰途につきました。川千家の皆様、ありがとうございました。

午後はお茶会の始まりです。食堂の一角に毛氷、番傘、茶器を用意し、和服に着替えた



記念すべき百回目

11/10

百歳のお誕生日

秋晴れのこの日は、東二丁目入居者一同の、百歳のお誕生日。入居者様、職員全員で、記念すべきこの日を、お祝いしました。まずは他ユニットの百歳の方に、お祝いの言葉をいただき、職員が皆で食べられるよう、考えて用意した「100」と書かれた特大ティラミスケーキで、お祝いしました。プレゼントは職員手作りのクッショーン。大変喜んで下さり、今でも毎日使って下さっています。

表情が豊かで、大変わんばかりで、元気な様。これからも、楽しく元気にお過ごしいただきたいと、心から願っております。



感激！華やかなフラダンス



お誕生日は素敵です

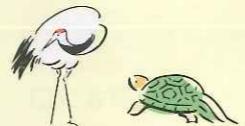


西二丁目





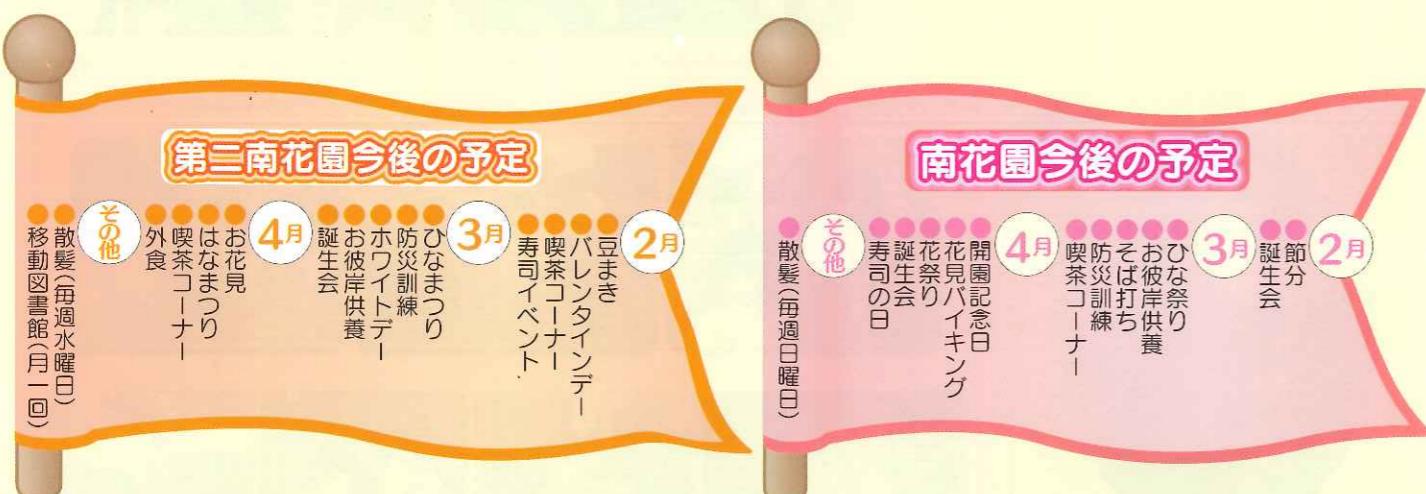
今回は新年にあたり
長寿の方を番付けにしました



H29.1月末時点

第二南花園		御長寿番付表		南花園	
ユニット型特養&ショートステイ	従来型特養	横 綱	デイサービス	特養・ショートステイ	
110歳（明治40年1月生まれ） 「長生きの秘訣は特にないけどね。まさか100歳も生きるとはねえ。（笑）」	97歳（大正9年1月生まれ） 「こちらこそありがとうございます。」	103歳（大正3年1月生まれ） 「ここに来て20年になるけれど、こんなに長生きできるとは思わなかった。これからもよろしくお願ひします」	105歳（明治44年3月生まれ） 「皆さんに良くしてもらっていることが幸せ、生活も楽になり、食事も美味しいし何不自由なく生活していることがあります」		
103歳（大正2年9月生まれ） 「長生きするのはね、良く食べて、良く寝て、良く歌う事よ！」	96歳（大正9年3月生まれ） 「どうもありがとうございます。あんたも大変ねえ（笑）。」	100歳（大正5年6月生まれ） 「ずっと皆様に良くしてもらって本当にありがとうございます。また色々な役を演劇でやってみたいね」	97歳（大正8年10月生まれ） 「ここでの生活に満足しています。お友達も、介護の人もいい人ばかりです。食事も美味しいし、言うこと何もありません。それが長生きの秘訣です」		
103歳（大正3年1月生まれ） 「ありがとうございます。」	96歳（大正9年4月生まれ） 「ありがとうございます。ただそれだけです（笑）。」	99歳（大正6年3月生まれ） 「これからもどうかよろしくお願いします」	97歳（大正8年11月生まれ） 「ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします」		

※写真が載せられないでコメントのみとなります。



新入職員紹介 - 私達は新たな希望を胸に頑張りますのでよろしくお願ひ致します -

第二南花園		南花園	
青木 里美 東部地域包括支援センター コーディネーター	松澤 菜摘 ユニット型特養介護員	佐藤 将慶 従来型特養介護員	内田 拓哉 特養介護員

デイサービス便り

運転以外にも…



運転手
萩田 良隆

早いもので、南花園に入職してから二十年が過ぎようとしています。これも施設長をはじめ多くの方々の支えがあつたからこそだと感謝しています。先日は、全国交通安全協会より「交通安全賞章緑十字銅賞」を頂き改めて気の引き締まる思いです。私は、運転手としてデイサービスに所属していますが、送迎以外にも色々な物を作ったり直したりもしています。行事やレクリエーションなどで使う物を頼まれることもあり、一から素材や形、強度などを考えながら作ります。元来凝り性な上、時間がかかり過ぎて皆様にご迷惑をお掛けしたこともあるかと思いますが、これからも入所者様に喜んで頂ける仕事をしたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

行事予定

2月 節分
卓球大会
おやつ作り

3月
ひな祭り
演劇
年度末会

4月
お花見
お楽しみゲーム
お茶会（初釜）



今年のクリスマス会は、「珍さん」によるマジックショーと「カホペナマーリエ」の皆様によるフラダンスの二つを行いました。マジックショーは、笑いもあつて、不思議なことが目の前で次々に起こると拍手が止まりません。フラダンスは、子供達が来園し、本格的なフラダンスを披露して頂き、皆様目を輝かせていました。とてもステキなクリスマス会になりました。

クリスマス会



「仮装して別人に…」

今回の忘年会は、年忘れ紅白歌合戦を行いました。いつもは歌わない利用者様や職員もデュエットしたり、仮装をしたり大盛り盛りになりました。「今年の年越しはとても賑やかで楽しかったよ！」「年は百点を狙うからね！」と、日々が練習も頑張った甲斐がありました。甲斐がありました。今年の年越しは大変喜んで頂きました。日頃皆来

忘年会



こんな行事もありました



「初詣」

「人として 人間らしく生きるために 佛教心をもつて 伴にくらしましょう」

貴陽福祉社会のブログ紹介

貴陽福祉社会のホームページ&ブログ是非ご覧ください
要望・お気づきの点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい
検索は「南花園」で。下記のブログアドレスからもどうぞ↓↓
<http://blog.canpan.info/kiyouhukusikai/archive/56>

きょう(貴陽)のはなぞの

社会福祉法人貴陽福祉会のブログです。
南花園&第二南花園の職員ブログです。
日々の様子をお楽しみ下さい。

10/28 ハロウィンパーティ



成人式



南花園の職員で成人式を迎えた
クラーク介護員。
大人の仲間入りをしました。

編集後記

あけましておめでとうございます。
年末には餅つき大会、新年はおせち料理やお屠蘇で正月気分を味わいました。
この冬のシーズンは、ノロウイルスやインフルエンザが猛威を振るっています。手洗い・うがいを徹底し感染しないよう予防をしましょう。

今年も、皆様に楽しんで頂ける「はなぞの」にしていきたいと思いますので、皆様よろしくお願ひいたします。

今日も元気な保育室

12/13 カレーパーティ



防災用に用意してあるカレーが賞味期限切れになる前に、カレーパーティをしました。デザートにフルーチェも作ってみんな大満足です。

11/4 里見公園へ遠足



毎日仲良く元気です



四季 冬(天晴日はスマシャンと勝手湯)

七十二候について今回最後になりますが、冬は十月八日頃の「山茶つばき」始めて開く、「さんかが咲き始めるから、「地始めて凍る」、「熊穴に蟄る(こもる)」を経て、二月三日頃までの「鷄始めて乳く(とやにつく)」にわたりが春の気配で卵を産み始める終わります。順番が逆になりますが、「元旦の「雪下(ゆきわた)りて麦生(めう)す」雪の下でも麦の芽が育ち始めなど、解りやすい事象の候が多いのですが、問題は大晦日(大歳旦)解つる(さわしかつのおつる)」さわしかと言つて、麦生する雪の下でも麦の芽が育ち始めなど、解りやすい事象の候が多いのですが、問題は大晦日(大歳旦)解つる(さわしかつのおつる)」さわしかと言つた中国にも、トナカイやヘラジカは居ません。中国に生息し十二月末頃に落角する大型の鹿類とは?「顔はウマに尻尾はロバ、蹄はウシで角はシカ」とい、四不像(シフゾウ)正式名称は麋鹿(ミールー)で中國音(スープラン)。中国の古代小説「封神演義(ほうしんえんぎ)」では、姿が違いますが主人公の乗る人語を解し空を飛ぶ神獸として活躍します。角も同じ時期に落ち、字も同一!昔は広く中国に生息していたようですが、様々な原因からほとんど絶滅してしまいます。ですがイギリスのベッドフォード公爵が飼育しており、繁殖させたものを再び中国を始め全世界の動物園などに送り絶滅を免れたのでした。

七十二候は江戸時代に日本に入り、その気候風土に合うよう直した様ですが、なぜ此だけそのままなんだー?仕方ないか?(ちなみにシフゾウは関東では多摩動物公園で見られます。)